

令和5年度 小林市立紙屋中学校 学校関係者評価書

4段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

学校の経営ビジョン	<p>「生徒を大切に、誰ひとり取り残さない教育の推進～ No one will be left behind ～」</p> <p>①「自立（自分で生きる力を身につける）と自律（自分の意志をもって行動する）を意識した教育」</p> <p>②「ダイバーシティ&インクルージョン（多様性を受け入れ、個を伸ばす）を意識した教育」</p> <p>③「ウェルビーイング（精神的にも肉体的にも社会的にも全てが満たされた状態）と心理的安全性（自分の意思を安心して表明できる）を意識した教育」を通して、生徒が通いたい・保護者が通わせたい・地域が応援したい学校づくりをめざす。</p>
-----------	--

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策等	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
知育	1 基礎・基本の定着と分かる授業の構築（1教科1研究授業実施）	主題研究として、1教科1回の研究授業を行い、校外で行われる研修会にも1人1回以上は参加して、学び続ける教師像を築くことができた。教科間での情報共有を今後はさらに深めていきたい。	3. 2	3.3	<p>○個に応じた関わりの中から誰ひとり、取り残さない教育の推進、とても重要なことだと思います。</p> <p>○朝学習でのミニ授業など各先生方の学力向上に向けての取組が大変良いと思います。生徒も先生方の一生懸命な姿を見て、自分達を大事にしてくださっているのだと感じている事と思います。その事で学習意欲も高まっていると思います。大変でしょうが是非、継続してください。</p> <p>○保護者からの応援メッセージの取組は大変良いと思います。親の思いや励ましで生徒ひとりひとりが大きな励みになっていると思います。このメッセージは一生の宝物になると思います。</p> <p>○時間の有効活用ができ、学習の習慣が身につく良いと思われる。</p> <p>○小学校よりタブレットの有効活用ができていると思われ、これからの生活にもICTの活用が期待されているので、これからも続けていただきたい。</p> <p>○「短時間で学習効果がある活動」の教え合いは、若者の指示待ち症候群の打破となり、社会人となっても大事な生き方につながると思います。</p> <p>○夢応援メッセージの実施は、担任の日々の苦勞を感じます。親子の喜びが見えるようです。そこから、保護者の「気づき」も培われて行くのではないかと期待大ですネ。</p> <p>○孫の宿題を自宅ですることがあり、個人の学力向上に取り組まれているのが判ります。</p>
	2 ミニ授業やテスト対策の時間の工夫（各クラス1教科月2回以上実施）	朝学習の時間を有効に使い、教師によるミニ授業を着実に実践し、授業の補充や内容の深化を図ることができた。ステップアップウィークについては、次年度から内容を改善して実施する予定である。			
	3 個別最適な学習と協働的な学習の融合を図るICT機器の活用（効果的なICT活用実践例1教科1例以上提案）	ICT担当が生徒を動かし、ICT推進委員会を立ち上げて点検活動や効果的な活用方法の紹介を行った。朝学習でも1年生対象にICTを学ぶ時間を取った。教師向けの研修会がさらに必要である。			
	4 家庭と連携した夢応援・学習指導の充実（夢応援メッセージ週1回）	各学年の担任が、毎週末に保護者へのメッセージをスタンプで依頼し、保護者からの応援メッセージをもらうことができた。効果的な家庭学習の仕方を検討していきたい。			
徳育	1 道徳の時間等を活用した心の教育の充実（年間35時間完全実施）	道徳の時間の完全実施については、出張の少ない毎週木曜日の4校時に固定し、年間指導計画に沿って実施を図った。副担任や校長による授業も実践し、全職員で取り組んだ。	3. 5	3.7	<p>○作文等よく拝読しています。生徒のみなさんの感性が伝わり、これからも楽しみにしています。</p> <p>○校長先生による授業は生徒も保護者もとても嬉しいと思います。全職員で生徒のために一丸となられ指導をされている姿に頭が下がります。生徒もみんなの先生から見守られていると感じています。</p> <p>○毎日、生徒も忙しいと思いますが、花や土に触れる事でホッとする時間も持てると思います。地域の方々とボランティアを通して郷土愛も育つと思います。</p> <p>○宮日への作品の投稿は、とても良いことだと思う。周囲の人たちから紙屋中の生徒は多く作品が掲載されているねと言われます。</p> <p>○紙屋一徳まちづくり協議会との交流で新村花壇の花植えや通学路のゴミ拾い活動、神社の清掃活動と地域への奉仕活動にはいつも感謝しています。</p> <p>○児童の作品を新聞紙上で発見する喜びは、毎朝の日課で、地域の元気の源です。担当の先生の努力に感謝ですネ。</p> <p>○長期休業中の花壇の手入れや水やり等、今年度は特に猛暑の中、教頭先生のご苦勞に感謝あるのみですネ。協力（手伝い）できずに申し訳なかったです。</p> <p>○一人の人間として生きていく中で最も大事な尊厳にかかわる事、気づき、実践する姿勢をこの時期に培われる事はとても大事な徳育ですネ。</p> <p>○新村の信号下での花壇に花植えにも積極的に協力してもらい、地区住民の方も関心をもって見守ってもらっている。</p>
	2 言語による創作を通じた豊かな心の育成（1人1作品新聞掲載目標）	宮崎日日新聞への生徒作品の投稿を、国語科担当が頻繁に行ったおかげで、多数の俳句や短歌、作文が掲載された。小林市の「家族の作文」では、7割を超える作品を応募し、学校賞を受賞した。			
	3 地域との連携を図ったボランティア活動や花づくりの充実（ボランティア・花づくりの活動週1回以上実施）	毎朝登校後に、生徒会がグループ分けした生徒たちが、花壇の手入れを行った。草取りや水やり、花の植え替えなどを行ったが、長期休業中の手入れについては今後課題が必要である。			
	4 自立と自律、SDGsを意識した生徒会活動の活性化（月1回実施）	生徒が自分のことは自分でやり、自らの意志で他に流されず行動できるようにし、SDGsを意識して自分にできることを見つけて実践できるよう、生徒会活動を行っていきたい。			
体育	1 新体力テスト結果に基づく個別の体力向上プランの作成と体力水準の向上（弱点克服のエクササイズを毎時間体育の授業で実施）	今年度は体育専門の教科担当が着任し、体育の時間に弱点克服のエクササイズを各学年で内容を変えて行うことができた。来年度は、体力テストの結果向上が期待される。	3. 4	3.7	<p>○虫歯治療率75%以上は、とても素晴らしいと思います。保護者と先生方の取組の成果だと思います。</p> <p>○体力作りは大事な事ですね。パワーがあればいろんな事への挑戦力も身につきますね。</p> <p>○「みんなで遊ぶ日」の取組は大変良いと思います。みんなを認め合い仲良く過ごす事で学校生活が楽しくなり、意欲も出てくると思います。</p> <p>○生徒会活動、私の時代は、人数も多く、今の一致団結みたいなものは体育祭のものでしたヨ。少人数の良さもあるなァと感じました。</p> <p>○小、中学校合同運動会では、中学生が積極的に協力して運動会を盛り上げる姿は大変良い。</p> <p>○持久走大会も校内走だが全員頑張った。</p>
	2 虫歯治療率75%以上、給食残食・朝食欠食ゼロと適正体重の維持	保健主事の丁寧で熱心な働きかけにより、給食残食ゼロと朝食欠食ゼロはほぼ達成されている。虫歯治療率75%以上も、あとわずか達成される見込みである。			
	3 立腰による精神バランス感覚の向上（生徒による立腰指導年間1回）	集会時に立腰を促してはいるものの、時間が経つと下を向いたり姿勢が悪くなったりする生徒が数名いる。今後は授業中も含め、姿勢のメリハリをしっかりとつけさせたい。			
	4 仲間づくりの推進（生徒会活動や授業での実践2ヶ月に1回以上）	生徒会主催の「みんなで遊ぶ日」を数回実施することができ、学年を越え、先生も交えて仲良く遊ぶ姿が見られた。学級活動や体育の授業でも、集団で活動する取組を実践した。			

食育	1 日々の安全指導の充実と命を大切に教育の推進(安全点検月1回実施と「SOSの出し方教育」等の実践年1回以上)	安全点検は担当が月に1回確実に実施し、修繕に繋げることができた。自分の命を大切にSOSを出せるようにする授業では、校長が各学年別々に授業を実施し、具体的なスキルを学ばせることができた。	3. 9	3.8	<p>○自分で食事を作ることは、これから先のことを考えても、とても良いことだと思いました。</p> <p>○食の大切さは、生きる力にもつながると思います。将来、自分で食事を作れるようになるよう安全に気をつけて御指導をお願いします。</p> <p>○子ども達を取り巻く環境も変わってきている状況をふまえ、あらゆる場面での命を守る訓練が的確に行われていると思います。</p> <p>○学校田の思い出は、田植えの時、ヒルにかまれた位です。今は収穫祭まで、有難いですネ。</p> <p>○地域全体の防災のあり方について、毎年実施しているまちづくり協議会とも連携して取り組んでいただきたい。</p> <p>○田植えや農作業の手伝いをする機会が昔からすると大変少ない。田植えや稲刈りを体験することで食物の大切さを育むことは良いことです。</p>
その他	1 全教職員の育成としての年間目標の確認と個人の役割の確認(目標設定・中間ミーティングを通して自分の役割1人1実践以上)	年度当初、職員向けに学校経営目標の見直しをしてもらい、今年度新しい視点を取り入れた方針を打ち立てることができた。個別ミーティングでも、個々の役割を確認し、実践を促すことができた。	3. 2	3.7	<p>○忙しい中、研修会へ参加し、教育の質の向上に取り組んでいただき感謝します。これからも働き方改革を推進して下さい。</p> <p>○心身ともに疲れていては、見える所も見えなくなります。生徒により良い指導ができるために、教職員の働き方改革はとても良い取組だと思っています。</p> <p>○働き方改革の中で限られた職員の中で研修に送り出す側の苦勞、副担、校長、教頭先生方までも代替授業の結果なのでネー。拍手です。</p> <p>○新任教師の学びの場の提供をされているとの事、紙中だからこそできる貴重な校風なのでしょうネ。ありがたいです。</p> <p>○満足度は高いが、人にはすすめたくない仕事というレッテル打破し、楽しめる仕事として頑張ってくださいネ。</p> <p>○回覧板で学校の活動報告をすることは、地域の人知ってもらえるので、可能な限り続けて欲しい。</p> <p>○宮日新聞に投稿されていて、見るのが楽しみです。</p>
次年度の方向性についての校長所見	<p>【知 育】第1学年の授業態度に課題があり、改善の努力に尽きる1年となった。個別に支援の必要なケースが複数見られ、その対応に追われた。個別指導や保護者面談、職員会での情報共有や対策会議など、多くの時間を費やして少しずつ改善の兆しが見え始めている。第2学年は授業態度にそれほど問題はないが、全体的な学力に伸び悩みが見られる。第3学年には互いに学び合う雰囲気があり、高い学力をキープすることができた。個別最適な学びと協働的な学びの両立やICTの有効活用など、授業の進め方の工夫や家庭学習の充実などに力を入れ、一人一人の学力を磨いていく必要がある。</p> <p>【徳 育】人間関係の固定化から、言葉遣いの粗さや互いの良さを認め合うことのできない行動など、第1学年を中心に課題が多く見られ、今年度はいじめ件数を2件認知することとなった。一方、人間関係のトラブルを通して、個性の違いを受け入れられるようになったり、伝えたいことをはっきりと言動に表すことができるようになったりなど、内面の強さを身につけることができるようになりつつある。次年度はSST(ソーシャルスキルトレーニング)や、自己肯定感や自己有用感を感じることで活動を取り入れることで、誰もが安心して通うことのできる学校づくりを実現させたい。</p> <p>【体 育】部活動・クラブ活動加入率が100%に近い状態にあり、運動に親しむ生徒が多いという利点はあるが、休み明けに体調不良を訴えたり、雨の日になると極端に車での登校が多くなったりする現状がある。日頃自分の力で歩いたり自転車をこいだりして登校することで、どれだけ体力が付き、忍耐力や感謝の気持ち、季節の移ろいを受け止める豊かな感性などがどれだけ育てられるかと考えると、大変もったいないと感じる。体育専門の教員が配置されたことで、体育の授業のさらなる効果が期待されることも踏まえて、今後体と心を鍛え、自分の力を磨くことができるような取組の充実を図りたい。</p> <p>【食 育】学校田の管理の大変さから、米作りの活動を止める学校が増えている中、本校では地域コーディネーターの協力のもと、貴重な田植えと稲刈りの活動が継続されている。しかし、稲を植えた後の手入れが全面的に大人の手に委ねられていることから、活動の継続については見直しの時期に来ていると思われる。給食では食べ残しがほとんどなく、給食センターからはお褒めの言葉をいただいております。今後も継続していきたい。家庭科の調理実習の時間や年2回の弁当の日だけでなく自分で食事を作る努力をすることや、給食感謝月間で日頃お世話になっている給食関係者の方々に感謝の気持ちを言葉で伝える努力をすることなどが、効果的な取組となっている。</p> <p>【その他】「まず、職員を大切にできる職場に」という言葉を学校経営方針の冒頭に掲げていることから、職員が体力的にも精神的にも疲弊することのないよう、全職員一枚岩となって課題解決にあたっている。職員がまず元気に明るく学校で生徒を迎えることができるよう、職員との対話を大切に、常に温かい言葉かけをするように管理職心がけている。その効果があつてか、職員室は常に笑顔と穏やかな雰囲気に入れられ、職員の細やかな心遣いや互いを尊重する言動が随所に見られる。職員が常に学び続けることができる研修や、働き方改革を積極的に進めながら、今後も職員の資質を磨いていきたい。</p>				